

## □人権週間啓発行事【明石人権擁護委員協議会】

人権意識の普及・高揚を図るため、毎年12月4日から12月10日までの人権週間に合わせて、人権啓発活動を行っています。

ここでは、令和5年12月に行われた、あかしヒューマンフェスタ及び三木市総合隣保館文化祭での啓発活動の様子を紹介します。

■明石市民会館中ホールにて、「考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心 2023あかしヒューマンフェスタ…しんどさを抱えるこどもたちの理解と支援…」が開催され、386人が来場されました。



■当日は明石市の人権擁護委員が、参加者に声をかけをしながら、リーフレットなどの啓発物を手渡しし、啓発活動を行いました。また、特設人権相談所を開設しました。

■令和5年12月10日（日）、テーマを「つなごう 手と手 築こう 心のかげ橋を」とし、三木市総合隣保館文化祭が開催されました。会場では、舞台発表、記念講演があり、371名が来場されました。また、12月6日から12月10日に作品展示がありました。

当日は、三木市の人権擁護委員と法務局職員が来場者に声をかけながら啓発活動を行いました。



## □人権教室【洲本人権擁護委員協議会】

洲本協議会の活動では、令和5年度に開催した人権教室の様をお届けします。

---

■洲本市の小学校で行われた人権教室では、小学校3年生29人に対して、DVD「勇気のお守り」を上映した上で、同市の人権擁護委員が中心となり、いじめる側・いじめられる側・周囲の人の、それぞれの気持ちを考え合うグループワークや、その解決策を発表してもらった授業を行いました。この教室を通じて、人権の大切さやいじめの防止について小学生達に伝えることができました。



■南あわじ市の3カ所の保育所で行われた人権教室では、同市人権擁護委員の朗読による紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」の読み聞かせを行いました。

園児たちは真剣な表情で紙芝居に聞き入ってくれました。物語の後半には、園児による「手のひらを太陽に」の合唱や踊りを披露してくれました。人権教室の最後には、まもるくん、あゆみちゃんのウォークバルーンが登場し、とても賑やかで楽しい教室となりました。

---

■淡路市の小学校で行われた人権教室では、小学校1年生に対し、体育の授業を通して人権啓発活動を行いました。

人権教室では、ペアになった人と動きを合わせるためにはどうすればよいか、ということを考えながらマット運動に取り組んでいました。

自分の演技だけでなく、相手の演技のことも考えることで「思いやりの心」を育むことができました。

